

生涯学習スポーツ部

事業概要

マンパワー事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事業名	教育委員会後援名義使用承認に関する事務	事業類型	その他
担当部課	生涯学習スポーツ部 生涯学習政策課		
基本計画	編 3 章 4 施策番号 24 豊かな心を育む市民文化の振興	まち・ひと・しごと 創生総合戦略	— —
根拠法令等	後援名義申請に関する事務取扱要領		
事業目的 (最終的に目指す状態)	市民文化活動の振興を図るため、企業・各種市民団体の文化・芸術活動の支援を行う。		

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
0.20人	0.15人	0.15人	0.00人

指標

	指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	活動指標	申請団体件数	件	170	183	81	△ 102 コロナウィルス感染症拡大の影響によりイベント開催が減少したため
②							
③							
④							

事業実績

2年度目標	企業・市民団体による文化芸術活動等を市民に周知することにより、文化芸術等に触れる機会を増やし、生涯活動環境の充実を図る。	元年度末時点の課題	—
目標に対する事業実績	合計81団体の後援名義の申請を受けた。	課題への対応	—
2年度評価	達成	次年度(4年度)以降の展開	現状維持

今後の取組

3年度目標	企業・市民団体による文化芸術活動等を市民に周知することにより、文化芸術等に触れる機会を増やし、生涯活動環境の充実を図る。	2年度末時点の課題	—
3年度の取組	企業・市民団体による文化芸術活動等を市民に周知することにより、文化芸術等に触れる機会を増やし、生涯活動環境の充実を図る。	4年度の計画	企業・市民団体による文化芸術活動等を市民に周知することにより、文化芸術等に触れる機会を増やし、生涯活動環境の充実を図る。

事業概要

マンパワー事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事業名	高尾599ミュージアム	事業類型	その他
担当部課	生涯学習スポーツ部 生涯学習政策課		
基本計画	編 3 章 4 施策番号 25 市民が誇れる歴史と伝統文化の継承	まち・ひと・しごと創生総合戦略	— —
根拠法令等	—		
事業目的 (最終的に目指す状態)	平成27年度に開業した「高尾599ミュージアム」において、稲荷山行政資料保管等施設で管理する動物剥製等を常設展示する。(旧事業名：高尾の里)		

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
0.05人	0.20人	1.20人	1.00人

指標

	指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	活動指標	貸出回数	回	1	1	1	0 実績による
②	成果指標	資料貸出点数	点	54	54	54	0 実績による
③							
④							

事業実績

2年度目標	稲荷山行政資料保管等施設で管理している旧高尾自然科学博物館の収蔵資料の一部を「高尾599ミュージアム」に貸与するとともに、標本の展示キャプションを行う。	元年度末時点の課題	—
目標に対する事業実績	・動物剥製、動物全身骨格及び鳥類模型 計54点を展示資料として貸与中。 ・その他の動物剥製、植物標本等を企画展等で使用可能か、高尾599ミュージアムと調整した。	課題への対応	— —
2年度評価	達成	次年度(4年度)以降の展開	現状維持

今後の取組

3年度目標	収蔵資料の一部を引き続き高尾599ミュージアムに貸与し、適正な管理をするとともに、展示資料のキャプション更新等を適宜行う。	2年度末時点の課題	—
3年度の取組	・高尾599ミュージアムへの実地調査を通じて貸出資料の利用及び保管状況を確認する。 ・高尾599ミュージアム学芸員との間で、貸出資料以外の活用について協議する。	4年度の計画	・収蔵資料の一部を引き続き高尾599ミュージアムに貸与し、適正な管理をするとともに、展示資料のキャプション更新等を適宜行う。 ・上記以外の資料についての活用方法を高尾599ミュージアムとともに検討する。

事業概要

マンパワー事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事業名	文化教育（伝統文化親子教室事業補助金）	事業類型	その他
担当部課	生涯学習スポーツ部 生涯学習政策課		
基本計画	編 3 章 4 施策番号 24 豊かな心を育む市民文化の振興	まち・ひと・しごと創生総合戦略	— —
根拠法令等	文化芸術振興費補助金（伝統文化親子教室事業）交付要綱		
事業目的 (最終的に目指す状態)	次代を担う子供たちが親とともに、伝統文化・生活文化に関する活動を計画的・継続的に体験・修得する機会を提供することにより、伝統文化・生活文化の継承と、子供たちの感性や創造力の涵養に資することを目的とする。		

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
0.10人	0.15人	0.15人	0.00人

指標

	指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	活動指標 申請団体件数	件	16	23	23	0	実績による
②							
③							
④							

事業実績

2年度目標	伝統文化親子教室開催関係団体への周知、申請の受付・取りまとめ・提出を行う。	元年度末時点の課題	—
目標に対する事業実績	合計23件の申請を取りまとめて東京都に送付した。	課題への対応	—
2年度評価	達成	次年度(4年度)以降の展開	現状維持

今後の取組

3年度目標	伝統文化親子教室開催関係団体への周知、申請の受付・取りまとめ・提出を行う。	2年度末時点の課題	—
3年度の取組	伝統文化親子教室開催関係団体への周知、申請の受付・取りまとめ・提出を行う。	4年度の計画	伝統文化親子教室開催関係団体への周知、申請の受付・取りまとめ・提出を行う。

事業概要

マンパワー事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事業名	TOKYO八峰マウンテントレイル				事業類型	イベント				
担当部課	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課									
基本計画	編	3	章	3	施策番号	23	誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーション	まち・ひと・しごと創生総合戦略	④	—
根拠法令等	スポーツ基本法 八王子市スポーツ推進計画									
事業目的 (最終的に目指す状態)	八王子市の豊かな自然環境を活かし、地域の魅力発信とともに「東京都自然公園利用ルール」に則った象徴的なトレイルランニング大会を実施する。この大会を通じて、トレイルランナーにおけるルール・マナーの啓発を行い、意識の高いランナーの育成を図る。									

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
0.98人	0.60人	0.30人	△ 0.30人

指標

	指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	活動指標 開催日数	日	1	0	0	0	令和元年度台風19号によるコース被害のため中止
②	活動指標 参加者数	人	893.0	0.0	0	0	令和元年度台風19号によるコース被害のため中止
③							
④							

事業実績

2年度目標	<ul style="list-style-type: none"> 参加者要項などによる東京都自然公園利用ルールの啓発の継続実施。 大会に参加することで恩方地域などの観光地の周知を図る。 	元年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> 参加者全員へのルールの徹底を行い、意識の高いランナーを育成。 令和元年度台風19号の被害によるコース状況。
目標に対する事業実績	令和元年度台風19号によるコースへの被害のため、開催中止。	課題への対応	<p>コースが復旧せず大会中止のため、既存ホームページへのルール掲載のみ。</p> <p>未解決</p>
2年度評価	不十分	次年度(4年度)以降の展開	拡充

今後の取組

3年度目標	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大の防止に留意しながら、大会を開催。 参加者要項などによる東京都自然公園利用ルールの啓発の継続実施。 大会に参加することで恩方地域などの観光地の周知を図る。 	2年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大状況下における事業実施の検討。 参加者全員へのルールの徹底を行い、意識の高いランナーを育成。 令和元年度台風19号の被害によるコース状況。
3年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> コースの安全確認、新型コロナウイルス感染症拡大防止を講じながら、大会を開催し、トレイルマナーやルールの徹底、地域の魅力発信を行う。 	4年度の計画	令和3年度までの取組を継続。

事業概要

マンパワー事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事業名	スポーツ推進計画の進行管理				事業類型	内部事務				
担当部課	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課									
基本計画	編	3	章	3	施策番号	23	誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーション	まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-	-
根拠法令等	スポーツ基本法									
事業目的 (最終的に目指す状態)	スポーツ基本法第10条第1項に基づき策定した計画を、本市の基本構想・計画「八王子ビジョン2022」の個別計画として位置づけ、八王子市のスポーツ推進施策を具体化するとともに、他の関連計画との連携を図りながら生涯スポーツ社会を実現する。									

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
1.40人	0.80人	0.51人	△ 0.29人

指標

	指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①							
②							
③							
④							

事業実績

2年度目標	計画の進行管理	元年度末時点の課題	計画の進行管理
目標に対する事業実績	計画の進捗状況を全庁に照会し、結果を審議会で報告し意見聴取した。(意見はなし)	課題への対応	計画の進捗状況を全庁に照会し、結果を審議会で報告し意見聴取した。(意見はなし)
			一部解決
2年度評価	やや不十分	次年度(4年度)以降の展開	拡充

今後の取組

3年度目標	計画の進行管理	2年度末時点の課題	計画の進行管理
3年度の取組	計画の進捗状況を全庁に照会し、結果を審議会で報告、聴取した意見を提示し、今後の取組に反映させる。	4年度の計画	・次回の改定(令和7年度)を見据え、検討を始める。 ・計画の進行管理

事業概要

マンパワー事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事業名	共催事業				事業類型	イベント				
担当部課	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課									
基本計画	編	3	章	3	施策番号	23	誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーション	まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-	-
根拠法令等	スポーツ基本法 八王子市スポーツ推進計画									
事業目的 (最終的に目指す状態)	各種大会等をスポーツ・レクリエーション団体等との共催により実施することで、生涯スポーツの振興と団体の自立・発展の促進を図ることを目的とする。									

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
0.10人	0.35人	0.15人	△ 0.20人

指標

	指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①							
②							
③							
④							

事業実績

2年度目標	スポーツ・レクリエーション団体等との共催により開催し、生涯スポーツの振興と団体の自立・発展の促進を図る。	元年度末時点の課題	・新型コロナウイルス感染症の拡大状況下における事業実施の検討
目標に対する事業実績	大会開催に向けて、スポーツ・レクリエーション団体等と調整を重ねたが、予定していた大会等(9事業)は、新型コロナウイルス感染症の影響により全て中止した。	課題への対応	・新型コロナウイルス感染症の影響により事業が中止。 一部解決
2年度評価	やや不十分	次年度(4年度)以降の展開	現状維持

今後の取組

3年度目標	・新型コロナウイルス感染症拡大の防止に留意しながら、スポーツの普及や市民の心身の健康増進を図る。 ・スポーツ・レクリエーション団体等との共催により実施し、生涯スポーツの振興と団体の自立・発展の促進を図る。	2年度末時点の課題	・新型コロナウイルス感染症の拡大状況下における事業実施の検討
3年度の取組	・市民卓球選手権大会、夏山登山入門、市民サイクリング、市民インディアカ大会、市長杯争奪ネオテニス大会、市民ネオテニス大会、市民スケート教室、少年軟式野球春季大会、市民ネオホッケー大会	4年度の計画	令和3年度までの取組を継続。

事業概要

マンパワー事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事業名	市町村総合体育大会選手派遣				事業類型	イベント	
担当部課	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課						
基本計画	編 3	章 3	施策番号	23	誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーション	まち・ひと・しごと 創生総合戦略	④
根拠法令等	スポーツ基本法、八王子市スポーツ振興計画						
事業目的 (最終的に目指す状態)	多様な種目を市民の間に広く普及させる市町村総合体育大会へ参加する選手を派遣し、日頃の練習の成果を発揮できる機会を設けるとともに、近隣市町村との親睦と交流を深める。						

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
0.11人	0.12人	0.10人	△ 0.02人

指標

	指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①							
②							
③							
④							

事業実績

2年度目標	<ul style="list-style-type: none"> 選手を派遣するにあたり、参加負担金と大会を主催する東京都市町村体育協会連合会への大会分担金を支出する。 NP0法人八王子市スポーツ協会に選手派遣業務を委託する。 	元年度末時点の課題	NP0法人八王子市スポーツ協会に選手派遣業務を委託するにあたり、情報共有を確実に行う。
目標に対する事業実績	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、大会が中止となった。	課題への対応	問題なく対応した。
			解決
2年度評価	不十分	次年度(4年度)以降の展開	現状維持

今後の取組

3年度目標	<ul style="list-style-type: none"> 選手を派遣するにあたり、参加負担金と大会を主催する東京都市町村体育協会連合会への大会分担金を支出する。 NP0法人八王子市スポーツ協会に選手派遣業務を委託する。 	2年度末時点の課題	NP0法人八王子市スポーツ協会に選手派遣業務を委託するにあたり、情報共有を確実に行う。
3年度の取組	市町村総合体育大会選手派遣	4年度の計画	令和3年度までの取組を継続

事業概要

マンパワー事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事業名	陸上選手権大会	事業類型	イベント
担当部課	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課		
基本計画	編 3 章 3 施策番号 23 誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーション	まち・ひと・しごと創生総合戦略	④
根拠法令等	スポーツ基本法、八王子市スポーツ振興計画		
事業目的 (最終的に目指す状態)	市民の日頃の練習の成果を発揮することと併せ、競技力の向上と陸上競技の普及を図る。		

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
0.06人	0.07人	0.06人	△ 0.01人

指標

	指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	活動指標	開催日数	日	1	1	0	△ 1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止
②	活動指標	参加者数	人	1,474	1,650	0	△ 1,650 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止
③							
④							

事業実績

2年度目標	大会運営全般業務について、八王子市陸上競技協会へ業務委託し、円滑な運営をおこなう。	元年度末時点の課題	新型コロナウイルス感染症の拡大状況下における事業実施の検討
目標に対する事業実績	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催中止	課題への対応	新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止 未解決
2年度評価	不十分	次年度(4年度)以降の展開	現状維持

今後の取組

3年度目標	・新型コロナウイルス感染症拡大の防止に留意しながら、大会を開催する。 ・大会運営全般業務について、八王子市陸上競技協会へ業務委託し、円滑な運営をおこなう。	2年度末時点の課題	新型コロナウイルス感染症の拡大状況下における事業実施の検討
3年度の取組	市民スポーツ大会兼八王子市陸上競技選手権大会	4年度の計画	令和3年度までの取組を継続

事業概要

マンパワー事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事業名	水泳大会				事業類型	イベント			
担当部課	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課								
基本計画	編	3	章	3	施策番号	23	誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーション	まち・ひと・しごと 創生総合戦略	④
根拠法令等	スポーツ基本法、八王子市スポーツ振興計画								
事業目的 (最終的に目指す状態)	市民の日頃の練習の成果を発揮することと併せ競技力の向上と水泳の普及を図る。								

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
0.11人	0.12人	0.10人	△ 0.02人

指標

	指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因	
①	活動指標	開催日数	日	1	1	0	△ 1	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止
②	活動指標	参加者数	人	335	330	0	△ 330	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止
③								
④								

事業実績

2年度目標	大会運営全般業務について、八王子市水泳連盟へ業務委託し、円滑な運営をおこなう。	元年度末時点の課題	新型コロナウイルス感染症の拡大状況下における事業実施の検討
目標に対する事業実績	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催中止	課題への対応	新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止 未解決
2年度評価	不十分	次年度(4年度)以降の展開	現状維持

今後の取組

3年度目標	・新型コロナウイルス感染症拡大の防止に留意しながら、大会を開催する。 ・大会運営全般業務について、八王子市水泳連盟へ業務委託し、円滑な運営をおこなう。	2年度末時点の課題	新型コロナウイルス感染症の拡大状況下における事業実施の検討
3年度の取組	八王子市民水泳大会	4年度の計画	令和3年度までの取組を継続

事業概要

マンパワー事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事業名	市民スキー競技大会				事業類型	イベント	
担当部課	生涯学習スポーツ 部スポーツ振興課						
基本計画	編 3	章 3	施策番号 23	誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーション		まち・ひと・しごと 創生総合戦略	④
根拠法令等	スポーツ基本法、八王子市スポーツ振興計画						
事業目的 (最終的に目指す状態)	市民の日頃の練習の成果を発揮することと併せ競技力の向上とスキー競技の普及を図る						

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
0.06人	0.07人	0.06人	△ 0.01人

指標

	指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	活動指標 開催日数	日	1	0	0	0	(a)雪不足のため中止 (b)新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止
②	活動指標 参加者数	人	37	0	0	0	(a)雪不足のため中止 (b)新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止
③							
④							

事業実績

2年度目標	大会運営全般業務について、八王子スキー連盟へ業務委託し、円滑な運営をおこなう。	元年度末時点の課題	新型コロナウイルス感染症の拡大状況下における事業実施の検討
目標に対する事業実績	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催中止	課題への対応	新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止 未解決
2年度評価	不十分	次年度(4年度)以降の展開	現状維持

今後の取組

3年度目標	・新型コロナウイルス感染症拡大の防止に留意しながら、大会を開催する。 ・大会運営全般業務について、八王子スキー連盟へ業務委託し、円滑な運営をおこなう。	2年度末時点の課題	新型コロナウイルス感染症の拡大状況下における事業実施の検討
3年度の取組	八王子市民スキー競技大会	4年度の計画	令和3年度までの取組を継続

事業概要

マンパワー事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事業名	ロードレース大会	事業類型	イベント
担当部課	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課		
基本計画	編 3 章 3 施策番号 23	誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーション	まち・ひと・しごと 創生総合戦略 ④
根拠法令等	スポーツ基本法、八王子市スポーツ振興計画		
事業目的 (最終的に目指す状態)	陸上競技の普及と競技力の向上を目的として、日頃の成果を発揮する場として実施する。		

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
0.13人	0.12人	0.10人	△ 0.02人

指標

	指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	活動指標 開催日数	日	1	0	0	0	(a)令和元年度台風19号によるコース被害のため中止 (b)新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止
②	活動指標 参加者数	人	434	0	0	0	(a)令和元年度台風19号によるコース被害のため中止 (b)新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止
③							
④							

事業実績

2年度目標	大会運営全般業務について、八王子市陸上競技協会へ業務委託し、円滑な運営をおこなう。	元年度末時点の課題	新型コロナウイルス感染症の拡大状況下における事業実施の検討
目標に対する事業実績	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催中止	課題への対応	新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止 未解決
2年度評価	不十分	次年度(4年度)以降の展開	廃止

今後の取組

3年度目標	事業の見直しを行った結果、廃止とする。	2年度末時点の課題	事業の見直しを行った結果、廃止とする。
3年度の取組	事業の見直しを行った結果、廃止とする。	4年度の計画	事業の見直しを行った結果、廃止とする。

事業概要

マンパワー事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事業名	図書館施設整備方針の策定	事業類型	調査・企画立案
担当部課	生涯学習スポーツ部 中央図書館		
基本計画	編 3 章 3 施策番号 22 市民がにつながる生涯学習	まち・ひと・しごと 創生総合戦略	
根拠法令等	図書館法		
事業目的 (最終的に目指す状態)	図書館施設の整備に関する方針を策定し、今後の図書館の施設の方向性を明確にする。		

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
—	—	0.42人	—

指標

	指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①							
②							
③							
④							

事業実績

2年度目標	<ul style="list-style-type: none"> 各施設の役割が整理され、施設配置と総量を最適化するための計画が策定されている。 地区図書室の図書館化の方向性が整理され、図書館化の優先順位が明確化されている。 蔵書計画を策定し、資料収集方針の見直しができている。 	元年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> コロナ危機管理への対応として、庁内検討会は書面開催など、最小限の開催とする。 非来館型サービスの拡充と施設整備とのバランスを図る。
目標に対する事業実績	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍における非来館型サービスの拡充と施設整備とのバランスについて議論を進めた。 	課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> 図書館部内での検討を進めた。
2年度評価	やや不十分	次年度(4年度)以降の展開	改善

今後の取組

3年度目標	<ul style="list-style-type: none"> 図書館各施設の役割が整理され、施設配置と総量を最適化するための計画が策定されている。 中央図書館の施設整備について、方針が定まっている。 地区図書室の図書館化の方向性が整理され、図書館化の優先順位が明確化されている。 	2年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館(築38年)の老朽化 八王子市公共施設等総合管理計画との整合性 市民ニーズの多様化(サードプレイス機能) 地区図書室の図書館化の方向性(見直し)
3年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> 図書館各施設の役割を整理し、施設配置と総量を最適化するための計画又は方針の策定。 中央図書館の施設整備についての方針の検討。 上記計画又は方針に沿った地区図書室の図書館化の整理及び優先順位の明確化の検討。 	4年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> 図書館のあるべき姿及び図書館全体の施設整備方針・計画の策定。

事業概要

マンパワー事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事業名	八王子駅南口集いの拠点整備(憩いライブラリ)の検討				事業類型	調査・企画立案		
担当部課	生涯学習スポーツ部 中央図書館							
基本計画	編	3	章	3	施策番号	22	市民がつながる生涯学習	まち・ひと・しごと 創生総合戦略
根拠法令等	八王子駅南口集いの拠点整備計画							
事業目的 (最終的に目指す状態)	八王子駅南口集いの拠点整備における憩いライブラリの内容を検討し、事業者公募の準備を進める。							

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
—	—	0.60人	—

指標

	指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①							
②							
③							
④							

事業実績

2年度目標	要求水準書作成のため、施設各室の仕様を固め、事業内容の検討を進める。	元年度末時点の課題	・面積要件が縮小したため、これまでの検討の一部見直しが必要 ・効果的な連携が可能な事業内容の明確化
目標に対する事業実績	連携各事業との事業内容確認を行った。各室諸元表の作成を通して、施設各室の仕様の検討を行った。事業内容の検討を進めた。	課題への対応	・読書のまち八王子推進連絡会議メンバーの意見も踏まえ、事業内容の検討を進めた。
2年度評価	達成	次年度(4年度)以降の展開	解決 現状維持

今後の取組

3年度目標	公園、歴史・郷土ミュージアム、憩いライブラリが融合した八王子駅南口集いの拠点整備の要求水準書がまとめられ、PFI事業者公募の事務が進んでいる。	2年度末時点の課題	・要求水準書の内容を決定する。 ・公園、「歴史・郷土ミュージアム」、交流スペースとの効果的な連携
3年度の取組	事業者公募用要求水準書の作成	4年度の計画	事業内容調整と要求水準書への反映 機運醸成事業の検討・実施

事業概要

マンパワー事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事業名	第4次読書のまち八王子推進計画進行管理	事業類型	調査・企画立案
担当部課	生涯学習スポーツ部 南大沢図書館		
基本計画	編 3 章 3 施策番号 22 市民がつながる生涯学習	まち・ひと・しごと 創生総合戦略	
根拠法令等	図書館法、第4次読書のまち八王子推進計画		
事業目的 (最終的に目指す状態)	第4次読書のまち八王子推進計画に基づき、「いつでも、どこでも、だれでも」読書に親しめる環境を整備する。		

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
—	—	0.55人	—

指標

	指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①							
②							
③							
④							

事業実績

2年度目標	<ul style="list-style-type: none"> 第4次読書のまち八王子推進計画における重点施策の明確になっている。 「新しい生活様式」を踏まえた新たな取組の明確になっている。 	元年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> 第4次読書のまち八王子推進計画における重点施策の明確化が必要。 「新しい生活様式」を踏まえた新たな取組の明確化が必要
目標に対する事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 第4次読書のまち八王子推進計画に基づく令和2～4年度図書館部事業実施計画を策定したことで、重点施策及び「新しい生活様式」を踏まえた新たな取組を明確にした。 	課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> 「新しい生活様式」における市民の読書環境に関するアンケートを実施した。 上記アンケートも踏まえ、第4次読書のまち八王子推進計画に基づく令和2～4年度図書館部事業実施計画を策定した。
2年度評価	達成	次年度(4年度)以降の展開	現状維持

今後の取組

3年度目標	<ul style="list-style-type: none"> 第4次読書のまち八王子推進計画の指標における現状値が定まり、目標が明確になっている。 各取組の数値分析が進み、目標値算定の基礎が出来上がっている。 	2年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> 第4次読書のまち八王子推進計画の指標における現状値の見直しが必要。 各取組の数値分析と事業計画の見直しが必要。
3年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> 中央大学との共同研究を含めた、図書館の利用動向の分析 第4次読書のまち八王子推進計画に基づく、事業の進捗状況の把握。 	4年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度の分析を踏まえた事業計画の策定。